

博物館資料保存論

保存論

No.	書名 / 論題	編著者	資料の解説 / コメント
282	人文系博物館資料保存論	青木豊編	博物館で資料を後世に伝えるための基礎作業を、人文系博物館の事例から検討。
283	文化財保存学入門：感じとる智慧・つなげる記憶	立正大学 仏教学部 編	文化財保存学とはどんな学問か。保存、修復に携わる専門家が理念を説く。
284	博物館資料の修復と製作	内川隆志 著	博物館資料の修復や製作を通して、保存だけでなく活用までを見通す姿勢が必要なのが見えます。
285	博物館資料保存論	本田光子, 森田稔編 著	放送大学の教科書。資料保存を分かりやすく解説します。
286	文化財のための保存科学入門	京都造形 芸術大学 編	文化財保存科学の手法は専門特化しています。本書は保存科学の文化財への応用的側面を学ぶ際に、不可欠な入門書です。
287	文化財をまもる	江本義理 著	文化財保存科学の歩みをたどる。ブロンズ像の劣化と環境汚染、壁画保存をはじめ、文化財の科学分析が保存に果たす役割を語る。
288	博物館資料取扱いガイドブック：文化財、美術品等梱包・輸送の手引き	日本博物 館協会編	文化財の梱包・輸送の実務上の知識を、絵画、陶芸といった種別ごとに紹介。初版。
289	博物館資料取扱いガイドブック：文化財、美術品等梱包・輸送の手引き(改訂版)	日本博物 館協会編	博物館資料を、実際に現場でどう取り扱うか。文化財取扱い実務を種別に紹介。改訂版。
290	博物館資料取扱いガイドブック：文化財、美術品等梱包・輸送の手引き(第2次改訂版)	日本博物 館協会編	博物館資料を、実際に現場でどう取り扱うか。文化財取扱い実務を種別に紹介。第2次改訂版。
291	歴史資料の保存と公開	文書館問 題研究 会、横浜 開港資料 館編	文書館の保存・公開状況を、神奈川県の実例から考察。日本のアーカイブズの現状と課題を考えるのに役立つ。
292	文化財科学の事典	馬淵久夫 ほか 編	資料を保存する際に必須となる、文化財科学の用語を網羅的に取り上げ、簡潔に説明している事典です。
293	CLEAN LIFE	環境文化 創造研究 所「編」	環境文化創造研究所が同名の機関誌で取りあげてきた、ミュージアムIPMIに関する記事等を集成、書籍化したものです。
294	東京国立博物館の臨床保存	東京国立 博物館編 集	『博物館資料の臨床保存学』の実践編。東博での日常の資料管理の在り方を紹介。
295	文化財IPMの手引き	三浦定俊 編集	文化財IPM(総合的有害生物管理)の全体像を示します。薬剤による燻蒸に頼り過ぎない、被害の抑制方法。
296	見てわかる文化財のIPM	文化財虫 菌害研究 所編	文化財IPMとは何か。管理上の注意点などを分かり易くまとめたハンドブックです。
297	文化財の収蔵・展示環境	国立文化 財機構奈 良文化財 研究所編	文化財の収蔵・展示環境に関する研究報告集。温湿度、観測システム、屋外の資料保存など。
298	博物館・美術館の生物学：カビ・害虫対策のためのIPMの実践	川上裕司, 杉山真紀 子著	カビや昆虫から資料をどう守ったらいいのか。IPMの解説もしながら、具体的な対策を紹介しています。
299	文化財保存環境学	三浦定俊, 佐野千絵, 木川りか 著	博物館の資料にとって、安全な保存環境を設計する方法を、多岐にわたって解説。初版。

300	博物館の環境管理	ギャリー・トムソン著；東京芸術大学美術学部保存科学教室訳	博物館における展示品などの環境、特に光・湿度・汚染大気について、実際面からわかりやすく解説。
301	文化財の虫菌害と保存対策	文化財虫害研究所[編]	文化財における虫菌害についてまとめ、保存対策を解説する専門書。
302	文化財害虫事典：博物館・美術館におけるIPM(総合的害虫管理)推進のために	文化財研究所東京文化財研究所編	文化財の保存管理における大敵の一つが虫やカビです。IPM対策で欠かせない害虫の基礎知識をまとめた事典。改訂版『文化財害虫事典』も所載。
303	文化財の保存環境	東京文化財研究所編	保存上の自然環境要件を解説し、良好な保存環境をつくり、維持管理する手法を解説。
304	博物館資料保存論：文化財と空気汚染	佐野千絵 [ほか] 著	東京文化財研究所における学芸員研修がベース。博物館の保存・展示のための空気環境を獲得するノウハウを紹介。
305	文化財・保存科学の原理：文化財の劣化・損傷要因とその保存対策	丹青総合研究所、丹青社企画・編集	文化財に極力手を加えず、気候や照明、虫からの劣化をどう防ぐか。資料の損傷要因、対策を示す。
306	保存環境を整える：厳しい気候各種災害から資料をいかに守るか：第7回資料保存シンポジウム講演集	国立国会図書館編	中国、韓国、ベトナム、モンゴルの資料保存の現状から、さまざまな環境下での保護について考える。下記リンクも参照。 http://www.ndl.go.jp/jp/preservation/cooperation/index.html
307	古美術を科学する：テクノロジーによる新発見	三浦定俊 著	美術品の科学的研究成果。仏像、壁画、屏風など各種資料の保存修復について、科学分析を踏まえて紹介。
308	美術を科学する(日本の美術：No. 400)	田中琢執筆・編集	金属、ガラスなど、さまざまな美術工芸品を理化学的に分析して得られてきた知見を紹介しています。調査、保存方法のガイド。
309	古文化財の科学	山崎一雄 著	古文化財の約50年の科学的研究成果をまとめる。正倉院宝物、壁画、絵巻、陶器、銅鏡、銅鐸などの分析報告。
310	紙の劣化と資料保存	鈴木英治 著；日本図書館協会資料保存委員会編集企画	本の紙はさまざまな理由で劣化します。劣化を抑え長く資料保存するには、日本図書館協会の「シリーズ本を残す」には他にも紙資料保存の話が豊富です。
311	紙と本の保存科学	園田直子 編	図書館・保存科学・修復・パルプ科学などの研究者たちによる共同研究。紙や本の保存に焦点をあてた基礎文献。類書に『「紙の若返りを考える」：国立民族学博物館国際シンポジウム』
312	合成素材と博物館資料 (Senri ethnological reports: 36)	園田直子 編	資料の保存修復、レプリカ作成における樹脂などの合成素材の利用状況、課題を検討した研究報告。
313	図書館資料としてのマイクロフィルム入門	小島浩之 編；安形麻理 [ほか] 著	文書・映像関係で使うフィルム。本書はマイクロフィルムの基本的取り扱いを示しています。
314	文化財を撮る：写真が遺す歴史	奈良文化財研究所飛鳥資料館[編]	文化財を守り、伝えるうえで重要な写真。現在、学術情報や歴史資料として、も注目される、文化財写真の魅力と価値を紹介。

315	写真技法と保存の知識：デジタル以前の写真-その誕生からカラーフィルムまで	ヘルトマン・ラヴェドリン, ジャン=ポール・ガンドルフオ, シビル・モノ著; 白岩洋子訳	デジタル以前の写真を保存するための入門書。写真の技法の歴史、劣化の原因を解説し、保存上の注意点を助言。
316	標本学：自然史標本の収集と管理	松浦啓一編著	自然史系博物館の資料の根幹となる標本の取り扱い方を紹介。初版『標本学：自然史標本の収集と管理』
317	標本の本：京都大学総合博物館の収蔵室から	村松美賀子企画・構成・文	標本の多様な姿、収蔵の特徴や注意点を、京大博物館の膨大な資料から紹介。自然史の魅力に引き込まれます。
318	技術の歴史を未来に役立てるためには：産業技術の歴史国際シンポジウム報告	国立科学博物館「産業技術史資料の評価・保存・公開等に関する調査研究」企画推進委員会編	近代以降の産業技術資料の活用は、まだ研究途上です。産業技術の活用について議論した国際シンポジウムの記録。
319	文化資源の保存、活用及び創造を支える科学技術の振興	科学技術・学術審議会	<Web>文化財を含む資料保存に関して、具体例に則ってその保存活用の技術等をまとめています。
320	SOSふるさとの文化財をすくえ：伝えたい古人の心と技：平成15年度夏季企画展	長野県立歴史館編	長野県立歴史館が行っている、各種文化財の調査や修理の成果を紹介する。
321	遺物の保存と調査	沢田正昭編集・監修	遺跡出土の文化財を主に、木製文化財や金属、ガラス製品の保存処理方法、材質・年代調査について、豊富な実例から紹介。
322	科学が解き明かす古代の歴史：新世紀の考古科学	沢田正昭編集	遺跡出土資料の科学的研究成果の数々。遺跡探査、銅やガラスの科学分析、年代測定など。
323	考古資料の修復・複製・保存処理	宮内庁書陵部陵墓課編	土器や鉄製品、石造物といった考古資料の保存について、処理過程を丹念に記録。宮内庁書陵部による展示会資料集。
324	出土鉄製品の保存と対応	松井敏也著	遺跡から出土した鉄製品を、劣化から守るには、鉄製品の保存科学対策を分かりやすく語る。
325	はぎとり・きりとり・かたどり：大地にきざまれた記憶	奈良国立文化財研究所飛鳥資料館[編]	屋外の文化遺産である考古学的な遺跡や遺構を保存する、剥ぎ取りやレプリカ法を紹介する。
326	文化財の保存・修復の半世紀：元興寺文化財研究所創立45周年記念	(公財)元興寺文化財研究所編	出土木製品や伝世資料の保存修復を手掛けてきた、研究所の歴史。文化財保存科学の歴史にも通じます。
327	考古学のための化学10章	馬淵久夫, 富永健編	考古資料を保存、分析するための多様な自然科学的手法を解説する。正・続2冊。
328	高松塚古墳は守れるか：保存科学の挑戦	毛利和雄著	壁画の劣化が見つかり、石室の解体に至った高松塚古墳。劣化の最新知見や国内外の壁画保存の調査を踏まえた検証。
329	築何年?：炭素で調べる古建築の年代研究	国立歴史民俗博物館, 坂本稔, 中尾七重編	古建築の年代を炭素年代測定法で調査した例から、建物がいつ作られ、いかに保存継承されてきたかが分かります。

330	文化財分析	早川泰弘、高妻洋成著；日本分析化学会編	分析化学が専門でない者にも分かりやすく、文化財分析の基本的な考え方、分析機器の特徴、分析結果の意味について解説。事例から保存科学を学べる。
331	文化財保存科学ノート	沢田正昭著	研究史と基本的研究方法を示し、木・金属・石など材質別の手法や遺跡の保存処理を網羅したテキスト。
332	青銅器の考古学と自然科学	齋藤努編	青銅器で進んできた原料、産地推定の分析成果を紹介し、考古学における自然科学の役割を示します。
333	出土木製品の保存と対応	樋上昇著	遺跡では多くの木製品が出土します。脆弱な木製品をどう取りあげ、保存すればいいのかわかりやすく、ノウハウを案内。
334	よみがえる飛鳥の工房：日韓の技術交流を探る	奈良国立文化財研究所飛鳥資料館編	明日香村で発見された飛鳥池遺跡は、古代の官営工房跡と考えられます。出土した金属製品などの様相を分かり易く解説。
335	文化財学の新天地	奈良文化財研究所編	奈良文化財研究所の遺跡調査、保存科学の成果を網羅した論文集。資料保存関係の論考も充実。
336	元興寺文化財研究所創立40周年記念論文集	元興寺文化財研究所、元興寺文化財研究所民俗文化財保存会編集	保存科学の中心的役割を果たしてきた研究所による論文集。保存科学各分野の最新動向を知ることが出来ます。
337	“オリジナル”の行方：文化財を伝えるために	東京文化財研究所編	資料保存で修復をする際に直面する、オリジナルとは何か、という問題について説き起こしています。
338	木を視て森を観る：植物利用の考古学：令和元年度夏季企画展	神戸市教育委員会文化財課編	植物を古代人はどう利用してきたのか。出土資料の保存、研究成果から具体的に紹介。
339	日本におけるフィルムアーカイブ活動史	石原香絵著	映画、その記録フィルムをどう保存するか。アーカイブ活動の歴史をひもとく、展望します。
340	トレハロースを用いた文化財保存の研究と実践：糖類含浸処理法開発の経緯と展望	伊藤幸司著	トレハロースは身近な甘味料。この糖類を使った保存処理の歴史と有効性を解説。自身が行ってきた研究開発と事例から紹介。
341	東京藝大クローン文化財：笑顔のつぎ木	IKI編著	文化財をコピーし復元する、クローン文化財について、事例を数多く紹介しています。
342	ひとかけらの木片が教えてくれること：木材×科学×歴史	田鶴寿弥子著	仏像や建物など、木片を顕微鏡などで調べるなかで得てきた、人がいかに木と向き合ってきたかを紹介。
343	北大総合博物館のすごい標本	北海道大学総合博物館編	北大総合博物館。植物から恐竜まで、多様な標本から知の系譜を見つめる。
344	仏像をなおす：伝教大師最澄没後一三〇〇年記念企画展	大津市歴史博物館編	滋賀の事例から、仏像を修理し引き継いでいく地域の営みを紹介する。
345	元素でたどる考古学：秋季企画展	神戸市埋蔵文化財センター編	資料を元素ごとに分け、資料の背景と元素の特徴や調査方法などを分かりやすく解説。
346	講座考古学と関連科学	亀田修一、白石純編	考古学の現状と、動物学、植物学、地質学など、考古学と関わる自然科学内容を平易に解説。
347	古文書の科学：料紙を複眼的に分析する	渋谷綾子、天野真志編著	古文書はどんな紙に書かれているのか、紙(料紙)から何が分かるのか。用紙という観点から資料を見つめる。
348	継承される地域文化：災害復興から社会創発へ	日高真吾編	東日本大震災からの復興過程を踏まえ、民俗文化財に焦点を当て、地域文化を再確認し継承する取り組みを考える。

349	自然史博物館の資料と保存	高野温子, 三橋弘宗 編	自然史博物館の資料の取り扱い、標本化、保存方法、さらにデジタル化やアウトリーチなども含め解説します。
-----	------------------------------	--------------------	--